

一般質問



※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。
※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

●母谷龍典
（自民党・市民クラブ・佐伯区）

●国道2号高架延伸事業
広島高速5号線

●森島秀治
（自民党・保守クラブ・東区）

●入札
・高齢ドライバーの交通事故防止対策

●桑田恭子
（市政改革ネットワーク・佐伯区）

●（市政改革ネットワーク・佐伯区）
・ローマ教皇のメッセージ
・住民監査請求のあった広報紙
・高齢者いきいき活動ポイント事業
・認知症による事故の賠償制度
・高速5号線
・アストラムライン延伸

●渡辺好造
（公明党・南区）

・被爆75周年における平和の取組と2020ビジョン
・死亡時のワンストップサービスの実施
・地域猫活動の取組
・重症心身障害児（者）と家族への支援
・学校での「職場のいじめ」
・高速5号線シールドトンネル工事の契約問題



広島高速5号線

問 いったん、約200億円で締結した契約がなぜ287億円に増えたのか。誤解や疑念は市民に不満と不審を与えたのではないか。

答 今回の増額約87億円は、JVから新たに提出された見積書をもとに、その根拠をJVに求めた上で妥当性を検証し、土木工事標準歩掛が適用できる工種はその歩掛を用い、特殊な工種は、メーカーから見積を徴収し積算したところ、増額が必要ながことが明らかとなったため合意したと説明を受けている。こうした公社の積算の方法や考え方は妥当なものと考えている。



答 本事業は、5カ所の出入口を設置することにより、西部方面から都心部へ向かう交通を分散・導入させ、都心部の交通の円滑化を図ろうとするものだが、ランプが接続する合流部や直近の信号交差点などで混雑が発生する場合も考えられるため、交通管理者等とも協議をしながら、必要に応じ交差点改良や信号現示の見直し等について検討する。

国道2号高架延伸事業

問 国道2号高架延伸事業は、本市発展の重要政策である八丁堀・紙屋町地区の再開発とどのようにリンクさせるのか。



母谷龍典
自民党・市民クラブ

アストラムライン延伸

問 五月が丘から市中心部に新交通利用で入る3つのパターンはいずれも乗り換えがあるが現行バスより3分早く着く。しかし料金は全て新交通利用が高額で、現行バス430円に対し最も高いのは690円。この差でも新交通を利用するのか。

答 3つのパターンのうち、所要時間が最も短いアストラムラインとバスを利用し乗り換えるパターンが26分・480円、高速4号線経由直通バスは29分・470円である。利用経路選択の予測は、所要時間、料金、運行間隔などから作成したモデル式により分かれるため、料金が安くなるより早く着くルートを選択する人もいると考えている。



桑田恭子
市政改革ネットワーク

高速5号線増額について

問 高速5号線二葉山トンネル工事費87億円だけでも大幅な増額だが、さらに高速2号との連結事業が追加され310億円の増額となる。なぜ今新たな事業として提案するのか、別の事業で提案できないのか、誰がいつ事業決定したのか。

答 連結路は、広島駅周辺と東広島市・呉市方面とのアクセス強化の必要性とともに、豪雨災害等により緊急輸送道路ネットワークの充実・強化の重要性も再認識され、整備を改めて検討し、国等関係機関と調整した結果、早期の完成を目指し、今回整備計画に追加変更を行うこととなった。

被爆75周年の具体的平和の取り組み

問 被爆75周年を迎える今年、本市は、平和の推進において、どこに力を入れ、具体的にどのような取り組みをされるのか。

答 為政者をはじめ世界中の方々に広島を訪問していただく「迎える平和」の取り組みとともに、広島に來られた方々に「ヒロシマの心」をしっかりと受け止め、共有していただくため、被爆の実相を「守り、広め、伝える」取り組みを一層推進していきたい。



渡辺好造
公明党

死亡時ワンストップサービスを

問 高齢化社会から多死社会へと移り変わりつつある中、さまざまな手法により死亡時のワンストップサービスを実施する自治体が増えている。こうした取り組みはさらに広がると考えるが、本市では、こうした死亡時のワンストップサービスの在り方について、どう考えているのか。

答 現在、件数の多い区役所において、手続きの種類や所要時間の実態を調査し、1カ所で受け付ける方法や簡素化の検討を行っている。検討を踏まえ、来年度中を目途に実施したいと考えている。

ICTで充実した教育を！

問 普通教室の無線LAN環境の整備に加え、「まちぐるみ『教育の絆』プロジェクト事業」学習支援システムの早期整備、家庭等、学校外でも学習できる環境を整えることも必要では。

答 学習支援システムを活用し学校外でも学習できるようにすることは、生徒に主体的な学習を促す上で、大変有効と考える。現在のシステムは学校外から利用できないが、今年度1校で試験的に無償利用できるようにし、効果を検証している。今後、試験実施の成果や課題を踏まえながら、学校外からも利用できるシステムの導入について検討したい。



市民の健康を一元管理で！

問 出生時から生涯にわたる医療情報の一元化や個人の健診結果など健康に係る情報を管理する方法について検討し、市民の健康への意識を高め健康寿命延伸に繋げる必要があるのでは。

答 医療情報などを記録し管理することは、健康づくりの推進に有効な手段と認識している。国は昨年5月策定の「健康寿命延伸プラン」で、個人の健康診断結果や服薬履歴等を電子記録するPHRの構築を進めることとし、9月に検討会が設置された。本市では今後、国の検討会の動向を注視しつつ導入について研究したい。



山本昌宏
市民連合

国保短期証発行を見直すべき

問 2008年の国保法改正や国の通知に沿って、納付できない特別の事情がある人に、資格証明書だけでなく短期証も機械的に交付するやり方はやめるべきかどうか。

答 短期被保険者証は、保険料滞納期間が5カ月以上となる滞納者に交付しているが、本市では国保の給付と保険料の滞納に係る納付折衝は分けて対応するため、財政局収納対策部で一元的に滞納整理事務を処理しており、納付折衝は滞納の期間にかかわらず随時行っている。



こうしたことを踏まえ、事務の合理化の観点から今後、見直しを検討する。



近松里子
日本共産党

高速5号線増額は、理解得られない

問 トンネル工事の談合が疑われる契約により87億円も増額するの、それを大きく超える347億円を増額する整備計画が提案された。膨らむ事業費には税金も投入されるのに、公社だけの責任だというのは市長としてあまりにも無責任ではないか。

答 第三者委員会の報告書で公正に事実認定されたことを基に納得いただけるよう説明していく。高速2号線と5号線の連結路については公社で検討を行ってきたもので、今回、一体で理解・承認いただけるよう整備計画に追加変更を行うこととした。